



©2014 大阪府もずやん

事例集を使った ワークショップの進め方 & 動画の使い方



地域での防災の取組に、事例集を活用しましょう。

事例集には、各地の自主防災組織が行っている事例が掲載されています。皆様の地域でも参考になる事例を探してみてください。



事例集の見かた



【1ページ目】

A

下記の5種類のうち、どの課題に対応しているかを記載しています。

加入者を増やしたい

防災の知識を知らせたい

災害の危険性を把握したい

防災訓練を実施したい

防災資機材や備蓄を進めたい

加入者を増やしたい

美国小学校区まちづくり協議会

美国小学校区まちづくり協議会
八尾市久宝瀬

団体名
所在地

ヒントにしたい! 活動事例

女性を主役にする事で
活性化した防災活動

美国地区では、働き手である大半の男性は大阪市内へ働きに出ていて、もしもの災害に備えて女性のパワーが不可欠であることから、地域のママさん世代の女性が立ち上がり、平成26年に女性防災リーダーが誕生しました。女性防災リーダーは現在11名（うち防災士6名）で防災訓練における指導等、地域の防災活動に当たっています。



活動のきっかけは?

災害はいつ発生するか分からない。昼間帯の男性不在の際の有事に備えるには女性の力が必要であること、避難所運営における女性目線に立った活動（女性ならではの物品配布、洗濯物の物干場問題、授乳場所等）の必要性を感じたところからです。



工夫したポイント?

女性リーダーを中心に活動をいかに広めるかを考えた結果、女性のネットワークを活用して、女性リーダーの増加を図るとともに、活動への参加者を増やすことがポイントだと考えました。



B
Aの課題解決のために実施した、実際の事例の内容を紹介しています。

C
この事例を行うきっかけや課題を記載しています。

【2ページ目】

加入者を増やしたい

美国小学校区まちづくり協議会

E

どのような結果を得たかを記載しています。

この団体の他の取組を紹介しています。

どんな効果が?

子どもを通じて日頃からの交友関係のネットワークが強力で、仲間を連れてくるという感じで活動への参加者の増加が図れました。また、ママ友という関係を生かして、若年層の防災訓練等への参加者が広がる効果を得ることができました。



D
工夫したポイントを記載しています。

その他の取組

- 防災リーダー6名が防災士の資格を取った。
- 防災研修会。（地域の集会所で地域住民を集め、講師として防災研修会を主宰した）
- 防災訓練の指導。（小学校の授業とコラボし、防災訓練において指導者として活動した）



団体概要

八尾市久宝瀬

美国小学校区
まちづくり協議会

美国小学校区まちづくり協議会は八尾市の推進する地域分権に基づき、防犯・防災の取組による地域の安全・安心、子どもの居場所づくり等の子育て支援、高齢者の孤立防止のための世代間交流事業を推進して、わがまちの課題解決をして住みよいまちづくりを目的とし設立したものであり、その目的遂行のための一つとして、わがまちの防災・減災に取り組む組織が美国地区自主防災組織である。

団体の概要

連絡先 八尾市危機管理課 072-924-3817

連絡先

事例集・活用のヒント

【課題の種類】

皆様の地域でこれらと似たような課題があれば、それに対応する事例紹介の内容を確認してみましょう。

A

加入者を増やしたい

防災訓練を実施したい

防災の知識を知らせたい

防災資機材や備蓄を進めたい

災害の危険性を把握したい



【事例の具体的な紹介記事】

事例の具体的な内容を見て、参考になるところがあるか、検討してみましょう。

B



【事例を行うきっかけ】

この事例を実施するに至った具体的な課題やきっかけが書かれています。

C

皆様の地域が抱える悩みと共感できるポイントがあるか、確認してみましょう。



【工夫したポイント】

取組をうまく進めるための工夫が書かれています。それらをヒントに、**皆様の地域でできる工夫**がないか、考えてみましょう。

D

【事例で得た成果】

取組後に得ることができた結果が書かれています。

書かれている成果を得ることができたら、**皆様の地域にどのような好影響があるか**、イメージしてみましょう。

E



事例集を使った ワークショップの進め方

ケース1. 事例集を参考に話し合う

ステップ 1

事例集から良いと感じる事例を見つける

- ◆ 事例集の課題別目次を参考に、良い事例を探しましょう。
→事例内容を見て、良いところや、組織の取組の参考になるところを見つけましょう。

ステップ 2

良いと思った事例をみんなで話し合う

- ◆ 抽出した事例をなぜ良いと思ったか。
- ◆ 参考にできるところはどこか。
→メモ用紙等を使い、それぞれの考えを書いてまとめる。



ステップ 3

意見をまとめる

- ◆ 組織で実践するには何が必要か話し合う。
→内容の検討、役割分担 等。
- ◆ 事例紹介の「課題」「工夫」「成果」の項目を参考にしながら話し合う。

事例集を使った ワークショップの進め方

ケース1. 進め方モデル

事前準備

- 班分け（1班あたり5～6人程度）

～準備する物～

- | | |
|--------------|------------------|
| • 事例集（人数分） | • 模造紙（各班1～2枚） |
| • 付箋（人数分、数色） | • サインペン（2～3本、数色） |

ワークショップ当日

1. 自己紹介・役割分担（約5分）

- ◆ 名前、一言メッセージ（私〇〇なんです。）
- ◆ 司会、書記、発表等の役割を決める。

2. 事例を抽出（約10分）

- ◆ 良い事例に付箋を貼る。
→ 課題別目次を参考に、良い事例を抽出する。

3. 話し合い（約10分）

- ◆ 抽出した良い事例について、グループみんなで話し合う。
- ◆ 付箋に各自の意見を書く。
→ 模造紙に貼り付け話し合う。

4. 意見をまとめる（約10分）

- ◆ 検討した内容や決まったこと等を模造紙に書く。

5. 発表（約20分）

- ◆ グループ代表者による発表を行う。

事例集を使った ワークショップの進め方

ケース2. 事例集を参考に(年間)活動計画を立てる

ステップ 1

現状の取組や課題について話し合う

- ◆ これまでの活動の振り返り。

ステップ 2

課題に合った参考事例を探してみる

- ◆ 事例集の内容から参考事例を探してみる。
→事例集の課題別一覧や事例紹介記事を参照。

ステップ 3

事例を参考に取組内容について話し合う

- ◆ 選んだ事例の内容を参考にしながら話し合う。

→目的、手法、役割 等。
「誰に向けて」
「どんな活動(手法)で」
「何が必要か」



ステップ 4

組織の(年間)活動計画を立てる

- ◆ 取組内容についての話し合いをふまえ、どの取組をいつ実行するか話し合う。
→「優先順位」「重要項目」等、取組内容を絞り込む。

事例集を使った ワークショップの進め方

ケース2. 進め方モデル

事前準備

- 班分け（1班あたり5～6人程度）

～準備する物～

- | | |
|--------------|------------------|
| • 事例集（人数分） | • 模造紙（各班1～2枚） |
| • 付箋（人数分、数色） | • サインペン（2～3本、数色） |
| • ホワイトボード、磁石 | |

ワークショップ当日

1. 自己紹介・役割分担（約5分）

2. 計画内容の話し合い（約10分）

- ◆ 組織の課題、取組について意見を出し合う。
→ 意見を付箋に書き、ホワイトボードに貼る。

3. 事例を探す（約10分）

- ◆ 組織の課題に合った事例を探す。
→ 事例集の課題別一覧や記事で気になったところに付箋を貼る。

4. 取組について話し合い（約10分）

- ◆ 事例を参考に、目的、手法、役割を書き出し、項目ごとにまとめて模造紙に貼っていく。

5. 計画をまとめる（約20分）

- ◆ 模造紙を見ながら、重要性や優先順位を決めて、内容を絞っていく。

動画の使い方



YOUTUBE
通常版



YOUTUBE
ショート

動画は30秒で自主防災組織の活動への参加や加入促進をPRする内容で作られています。地域の集まり等で、住民の方にご覧いただき活用してください。

地域のイベントで視聴してもらう

出初式や成人式、夏祭り、地域の消防訓練等、地域の皆様が集まるイベントで見てもらいましょう。

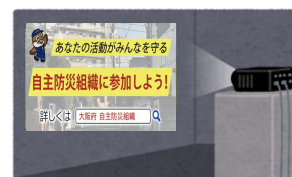


【視聴方法の一例】

イベント会場に設置するデジタルサイネージでの再生



モニターやプロジェクターでの再生



※イベント等の開始前後や休憩時間等、隙間時間をうまく活用しましょう。

SNSを使って配信する

自組織のSNS等で配信しましょう。



【配信方法の一例】

メールやLINE、X等のSNSに動画がアップされているYoutubeアドレスを記載して配信

【配信文例】

大阪府で自主防災組織の動画が制作されました！

<https://www.youtube.com/shorts/j83cygcXwfM>

●●地域の訓練にぜひご参加ください！

#●●地域 #防災の日 #自主防災組織



※SNSで配信を行う場合「#(ハッシュタグ)」を活用することで同じ目的や意識を持っている人に投稿を見られるため効果的です。

※過去の災害が起こった日など、防災に意識が向くタイミングでの配信も効果的です。